

月刊
JMITU

チキユカ



5月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガグループ分会 2019年発行

No.413

許せない消費税10%増税

その前にまずは軍事費削減

内閣府が発表した景気動向指数は、景気の現状を示す一致指数が低下となり、基調判断は、「悪化」に引き下げました。

景気がすでに後退局面に入った可能性が高まりました。

そんな中、消費税が10月から10%に増税されようとしています。

景気悪化の可能性を否定できなくなったもとの消費税増税はかつてない無謀な政策です。

また、当初導入の目的は、社会保障に使うとされてきました。現実はどうでしょう？導入されて30年社会保障は良くなるどころか悪化の一途、その上税率も3%から今では8%

その上更に税率が上がるなんてありえません。「軽減税率」など全くもって意味がありません。

消費税を増税すれば、更に消費が落ち込み、経済に打撃になるのは明らかです。

消費税10%ありえない

F35戦闘機 爆買い

安倍首相がトランプ米大統領のいいなりに105機の追加購入を決めたF35ステルス戦闘機。

このうち、63機導入する基本タイプについて、防衛省は単価を約116億円と公表しています。

F35は今後5年間で27機調達する予定です。

自衛隊に配備されたF35は4月に墜落。パイロットは行方不明のまま、原因の解明も進んでいません。

米政府も最新の報告書でF35の未解決の欠陥が800件以上もあるとしています。

欠陥機であるF35の「爆買い」をやめ、大企業や富裕層への優遇税制も見直せば、消費税など上げずに社会保障、子育て・福祉政策を拡充できます。

同一労働同一賃金

不合理な格差是正へ

の内容や責任などが同じならば、期間の定めがあることを理由に、賃金や福利厚生などの労働条件に不合理な差をつけることを禁じる。

広島県・大阪府で働く日本郵便の期間雇用社員が、正社員と手当や休暇の格差があるのは違法だとして格差是正を求めた訴訟の判決が、今年大阪高裁であり、裁判長は手当と休暇の格差を不合理と認め、一部の手当と休暇は、契約期間が通算5年を超える期間雇用社員に限り不合理な格差としました。

来年には、政府が進めてきた働き方改革「同一労働同一賃金」が施行されます。実態は、正規と非正規の格差を温存するなど、私たちが求める内容とはかけ離れたものです。

参議院選挙で暴走政治を止め、暮らしや雇用を守るために、変えていきましょう。

4こ末漫画

川崎よしき



ショートショート

余命

仙洞田一彦

五月というのにもう真夏という感じ。昨日も用事があって、出歩かなければならなかった。この時期は太陽が高く、高い建物沿いの道であっても、日蔭はほとんどない。救急車を通り過ぎると、熱中症で誰か倒れたのかなと思う。続いて遠くから救急車の鳴らす音が聞こえてくると、ああ、またかと思う。

去年の夏のことも思い出した。八月になつてすぐ、ある集まりに出かけなければならなくなった。ならなくなったというのはおかしい。自分で約束していたのだから、自分の意志でしたことだから、本

来「出かけた」というべきだ。

朝から三十度越えか。雲ひとつない青空。午後一時開始だから、家を出るのはよりによつて昼近く。文句があるなら、朝気温の低い時に出て行って、向こうで待っていていればいいのだが、と思いつつとにかく表へ出た。とたんに暑さにやられ口をつぐみ、うなだれて歩く。

体全体が熱に包まれると、この暑いのに「出かけなければならぬのか」とやっばり思う。バス停のそばにある建物の壁にへばりつくようにして、直射日光を避ける。バスを待つ時間の長いこと。死にそうだ、と思う。「余命三ヶ月」
医者からそう言われている人には、きわめて失礼なこと

だが、脈絡もなくそんな言葉が頭に浮かぶ。しかし、熱中症なら、三ヶ月もない。この年で倒れたら、救急車が来るまで呼吸をしていられるかどうか分からない。そのままお陀仏だ。自分で考えるものだから「三ヶ月」などと、時間を長く考えるのかも知れない。まだ「三ヶ月」などと頭にあらうちは、大丈夫かも知れない。

バスが来た。バスの中は冷蔵庫の中みたいだ。冷蔵庫に入ったことはないが、外が暑いからそう感じるのだろう。しかし暑さに弱いのは、寒さにも弱いのだ。若い頃を思い出せばいい。たしかに温暖化、異常気象で、昔より暑さ、寒さも厳しくなったかもしれないが、やはり、それほど厳し

くは感じなかったかもしれない。身体が気温の変化に耐えられる力を持っているからだろう。ひと停留所の間くらいは、地獄から天国という気分だが、時間が経つにつれて、運転手に冷房を止めてくれと言いたくなる。無論、言わない。言うわけがない。停留所で止まるごとに、暑さで、もう死にそうだという顔をした客を乗せるのだから。しかし、そんなに寒ければ自分が降りればいいのだ。バスを降りてはいけないということはないのだから、と思ったって炎天下を歩く勇氣はない。

むかし、外で仕事をしていた時があった。トラックから荷物を下ろしたり、積んだりするのだ。
小屋と呼んでいたが、その

作業場の事務室兼休憩所の小屋。壁は断熱しない。外が暑ければ、そのまま暑い。より暑くなる。夏は朝からエアコンをフル運転しないと小屋の中

中にいられない。事務員のおばさんが一人いたが、中になると冷えすぎるので、時々外に出て、温度調節していた。

外で作業している者は、トラック一台の作業が終わると小屋に飛び込む。作業中、身体が変だと感じても、小屋に飛び込む。そうやって身体を冷やしていた。

ある時会社の偉い人が来て小屋に入った。すぐに出てきて言った。

「誰もいないのに、冷やし過ぎじゃないか」

スイッチを入れればすぐ冷えるものではないし、壁はト

タン板。金属だから小屋の中は外より暑くなってしまふ。だから冷えるまで時間もかかるし、その間に身体の具合もおかしくなってしまう。

みんなその偉い人の方をみたが、誰も何も言わなかった。偉い人の口が動いたようだが、何も聞こえなかった。みんな黙ったまま偉い人の方に視線を向けていた。その視線は「俺

たちが今、どこでどんな作業をしているか、見ればわかるだろう」と言っていた。偉い人はすぐ、自分の部屋があるビルの方に歩いて行った。

バスから降りると炎天下。バスで冷えた体が温まらないうちに、駅ビルに入る。電車には弱冷房という車両もあるが、こう暑いと、その車両は人が少ない。腰掛けたければ、

その車両に乗ればいい。

むかし、何時も混んでいる喫茶店が、ガラガラに空いていた。ガラスのドアに「コーヒー半額」と真新しい紙が貼ってあった。へえーっと思いつながら、ガラスドアを推して入った。エアコンが壊れていたのだ。暑さついでに、そんなことも思い出した。

乗換駅に着いた。その駅での乗り換えは初めてだった。案内表示板を見ながら改札を出たり入ったりして、目的のホームにたどり着いた。ホームは温室状態。見上げるホームの屋根も、畑の温室のように半円形で、透明の屋根をしている。風の通りの向きだつたら、そのトンネルを吹き抜けて、少しはしのげるかもしれないが、風がまったくない。

ホームの天井から垂れ下がる到着時刻表示板の時刻は、まだ十五分以上あることを示している。

下りのエスカレーターを探して降り、下の涼しいところで待ち、直前にまた上がってくるか、と思っても初めての駅ではそんなにうまく行くかどうか自信がない。集まりの開始時刻には、表示の電車に乗っても間に合うかどうか、危ないくらいだ。かといって、ここで待つのも、身体の方が危ない気はする。

携帯電話が鳴った。受話器の絵を描いたボタンを押して、耳にあてた。

「いま、どこですか」
声が出た。ああ、相手の言っていることが分かる。まだ意識はある……。

安定雇用

私たち労働者は、出来るだけ安定した暮らしをするために働いています。そのためには安定した雇用、人間らしい生活ができる賃金が必要です。しかし、今の日本は格差社会が広がり、安定した雇用・収入を得ることが難しくなっています。

先日、経団連会長やトヨタ自動車社長が終身雇用を守っていくのは難しいと発言がありました。しかし、大企業はアベノミクスの恩恵を受け、史上最高益を稼ぎ出しています。企業の社会的責任からみても無責任な発言です。

一方、労働者は非正規化が進み、低賃金を強いられてい

ます。多くの低賃金労働力を活用することによって、大企業は高い収益を生み出しています。

日本の企業は、安定雇用が保障されているからこそ、優秀な技術者たちが日本企業にとどまり続けてきました。しかし、大リストラが行われ、安定雇用が崩され、企業では多くの人材が海外に流出し、技術も拡散してしまいました。

いま求められていることは、安定した雇用の拡大で、大企業がため込んだ400兆円を超える内部留保を使い、正社員化や新たな雇用を作り出すことです。もちろん希望のもてる政治に転換することも重要です。

労働組合に

入りませんか！

職場でいじめ（パワハラ）をうけている・自由に休みがとれない・残業代が支払われない・突然会社から解雇と言われた・賃金が上がらないなど、職場での悩みはありませんか。そんなときは一人で悩まずに、私たち労働組合にご相談ください。

私たちJMITU（日本金属製造情報通信労働組合）は、全国組織の労働組合です。正社員でなくても、パートやアルバイト、派遣社員の方でも加入できる組合です。働きやすい職場をつくるには労働組合が必要です。ぜひ職場に労働組合を作りましょう！

労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://jmitusega.chips.jp/>